



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.43 2010年1月10日発行

(医) 頼整形外科クリニック
〒591-8004 堺市北区蔵前町1226-1 サンロード1F
TEL072-250-3211 FAX072-250-3222

巻頭言 "必殺仕分け人"

市整会副会長 阪本邦雄

新年明けましておめでとうございます。

市整会に対して、諸先生方の常々の御尽力、御協力に、厚く御礼申し上げます。

昨年、政治の世界では、劇的な出来事がありました。衆議院選挙において自民党が大敗し、民主党への政権移行がなされたのです。早速、発足した鳩山政権は、小泉政権の年2200億円、5年間で1兆1000億円の社会保障費削減方針の撤廃を表明いたしました。民主党は、中々やるなと感じておりましたが、行政刷新会議（議長：鳩山総理）なる会議のもと、今年度の予算要求の無駄を削減する目的で、その事業が必要かどうかを決定する「事業仕分け」が昨年の11月にワーキングチームによりなされました。その「事業仕分け」の初日に実施されたのが、診療報酬の配分、レセプトオンライン導入のための機器の整備等の補助、後発品のある先発品などの薬価の見直し等の我々に関連する厚労省関係の項目です。この中で、驚いたのは、診療報酬の配分に関する「仕分け」です。内容は、診療報酬の高い診療科の報酬を削減し、その削減分を報酬の少ない診療科に割り当てるといふ各診療科の報酬の見直しです。この報酬（収支差額）の最も高い診療科が、なんと整形外科ではないか。このワーキンググループの資料では、整形外科の収支差額（＝医師の給料）は、約4,200万円、一番低いのは小児科の1,700万円で、整形外科は小児科の約2.5倍である。つまり、本年の診療報酬では、整形外科関連の診療報酬が大幅に削減される可能性が出てきました。このような不正確な資料に基づいて、さらに、医療関係者のいない素人のワーキンググループ委員によって、医

療、整形外科に関係する診療報酬が議論されるのは、まったく納得がいきません。当初あった民主党に対する期待感が、剥き落とされました。今後我々整形外科医もこのような不正確な資料に基づいて行われる政治に対してしっかりと、面と向かい、誰かに頼むのではなく整形外科医自身が、整形外科医の意見をさらに強く主張して行く道を選ばなければなりません。

さて、市整会では、各役員の方の御尽力で、毎年、様々な行事を開催していただいております。昨年の秋の家族会では、私も日清のチキンラーメンを自分で作り、バスの中ではその出来立てのチキンラーメンをあてにビールを飲み、その後、有馬グランドホテルでゆっくりと温泉に入り、さらにビール、ワインを飲み、おいしい料理をいただきました。本当に楽しい一日を過ごさせていただきました。

また、昨年11月に開催されました学術文化講演会では、西澤先生の御尽力で先生の灘高の同級生である防衛省の山田主席衛生官、コラムニストの勝谷氏の御講演がありました。山田主席衛生官は、凛々しい自衛隊の制服で壇上に立たれ、空自、陸自、海自の違い、情報の重要性、人間性の熟知の必要性等について御講演いただきました。

勝谷氏は、実家が医家であることからか、医療に対しての御理解が深く、「日本国で最もいじめられてきたのは、医者と自衛官である。その最も大きな原因は、マスコミである」と話されていた。私も、まったく同感で、以前から考えていたのですが、マスコミは、医者の良いところは、決して取り上げず、悪い所ばかりを取り上げ、さらに、

医師・医療に対するリスクを過大報道しております。前述の事業仕分けでも「医師不足は、診療科別に隔たりがあり、リスクの少ない診療科に医師数が増えている。」と述べられておりますが、そのリスクを大きく報じているのが、例の産婦人科問題でも明らかにされたように、マスコミで、マスコミの報道が、現在の若い医師をリスクの少ない診療科へ誘導した大きな原因になっています。

今回の勝谷氏は、医師・医療に対する一般社会の問題点を歯に衣着せず御講演してくださいました。

今後も、市整会といたしましては、総務の新年会、総会、学術の学術講演・文化講演、健保・労災の講演、福利・厚生家族会、ゴルフコンペ等、各担当役員の先生方の御尽力で、同じ釜の飯を食った同門の誼を大切にして、勧めていただきたいと存じます。さらに、今後は、特に、同門会における病診連携を強く押し進めて行きたいと考えております。



市整会のホームページを開設しました

市整会 総務担当 斧出安弘

今から9年前の平成12年の12月に私は開業し、市整会の仲間に入れていただきました。その当時は、インターネットという言葉は、もちろん一般的にはなっていました。が、まだまだ一般の人たちには、普及していなかったように思います。パソコンの機能も、まだまだ素人が使うには難しく、詳しい知識がなければ、思うように使いこなせませんでした。その当時に、友人がインターネットのホームページを作る仕事をしていて、「開業のお祝に、ホームページを作ってあげる。」と、言ってくれました。それから、9年の年月があったという間に経ってしまいました。当初は、「ホームページを見て来ました。」という患者さんは、ほとんどいなかったのですが、開業して3年目ぐらいから、「ホームページを見て来ました。」という患者さんがぼつぼつ出てきて、今では年配の方でも、「孫に、インターネットで、調べてもらって来ました。」という患者さんも、徐々に増えてきております。

そんな中、市整会の理事の末席に加えていただいた時から、「市整会もホームページを作ったらいいのに。」と、以前から思っておりました。

本年9月12日の理事会で、「市整会のホームページの作成」について、提案をさせていただいたところ、理事の先生方の満場一致で、御承認をいた

できました。

その理事会の席で、市整会ホームページを作るためのIT委員会を結成し、そこから立ち上げがスタートしました。

基本的には、私の友人の業者をお願いをして、ホームページの内容について、おおざっぱな打ち合わせを、数回させていただき、たたき台を作成。それをもとに、ホームページの表紙のデザイン、色、コンテンツの内容などを、IT委員会の先生方にご覧いただき、それぞれの先生方のご意見を聞きながら、進めてまいりました。

市整会のホームページの作成上のこだわりは、市整会の記念誌の表紙になっております「市整会」の文字（黒田晃司先生の奥様の作品）と、市整会のロゴマーク（鳴嶋真人先生の御嬢様の作品）を是非使ってもらいたく、業者の方をお願いしました。

理事会で承認を得てから2か月。ようやく市整会のホームページが公開できる形になりましたので、まだ未完成ではありますが、11月17日にメールリスト、FAXネットを使って市整会の先生方に、ホームページ開設のお知らせを送らせていただいたのが、ホームページ開設までの経緯です。



(4)

市整会のホームページのURLは、下記のとおりです。

<http://www.siseikai.net/>

ホームページの解説と使用方法

表紙の解説

表紙のページを開くと、「概要」、「会長挨拶」、「市整会の歩み」、「市整会の会章について」と並んでありますが、それぞれをクリックしていただくと、内容がご覧いただけます。

「概要」については、市整会の創世記の頃のお話を、宮内貴先生にご投稿をお願いしました。「会長挨拶」は、現会長の頼功先生に、ご投稿いただきました。「市整会の歩み」については、35周年の記念誌に載っていた、阪本邦雄先生の記事を転載させていただきました。「市整会の会章」については、鳴嶋真人先生に解説をしていただきました。

下地がグリーンのアイコン は、一般の方にもご覧いただけるページです。

「会員（診療所）一覧」は、先生方の病院、診療所の連絡先をあいうえお順で、並べてあります。昔、市整会が発行しておられた、診療所一覧の冊子のようにご活用いただけたらと思います。今現在地区別で検索できるように、検討をさせていただいております。市整会の先生方には、患者さんの相互のご紹介等にご使用いただければと思います。また、関連病院の先生方にも、病診連携の一環として、患者さまをご紹介していただけるよう、このホームページをご紹介したいと思っています。

それぞれの先生方の診療所のホームページを載せる欄がありますので、ホームページをお持ちの先生は、IT委員の方まで、ご連絡ください。順次、リンクさせていただきます。

「講習会のお知らせ」は、IT委員の方に入る情報を、順次アップさせていただきます。大阪府内での、講演会、研究会等のお役に立つ情報がありましたら、IT委員までご連絡ください。

「一般の方向けの記事」は、一般の患者さん向け情報、あるいは健康をテーマにしたような情報を、市整会として、提供できるようにするべく、用意したページです。診療所の宣伝を兼ねて、先生方ご自身の得意分野の情報提供、ご投稿をお願いします。IT委員会の方まで、原稿をいただければ、アップします。

「リンク集」は、たくさんリンク先がある方が、ホームページの利用率が上がるので、とりあえず、医師会関係をアップしてみました。追加をご希望のホームページがありましたら、御遠慮なくIT委員まで、ご連絡ください。

下地が赤紫色のアイコン は、会員用のページです。

アイコンをクリックしますと、IDとパスワードを入力する画面が出てきますので、IDとパスワードを入れて入室してください。

「市整会（会員のみ）」に、入る一般会員の方の認証は、「ID：siseikai PASS：1972」です。

（理事会の部屋に入るには、理事専用のID、パスワードが必要です。理事の先生方には、別に連絡をさせていただきます。）

「市整会（会員のみ）」のページに入りますと、次の5つのコンテンツがあります。

1、症例検討ルーム

日常の診療で、困られた症例など、市整会の先生方で共有して、考えていただくページです。医局のカンファレンスのイメージです。先生方が、ご自身で書き込めるようにしてあります。書き込み方法は、画面の右下に、Adminというアイコンがあります。そこをクリックしてください。開いたページの一番上の行に、「記事を書く」と言う枠の右側に、USERという枠があります。そこに、「siseikai」と入れてください。その右にPASSという枠があります。そこに、「1972」と入れてください。最後に、その右の「GO」というアイコンがありますので、それをクリックしていただくと、書き込み画面が出てきます。書き込みフォームにしたがって記事を書き込んでいただいて、修正・削除用Passを、ご自身で任意に設定していただき、送信ボタンをクリックすると、記事が書き込めます。修正・削除用のPassを設定していないと、後でご自身での記事の修正・削除ができませんので、ご注意ください。万が一、修正・削除用のPassの設定を忘れて、書き込んだ記事の修正、削除をしたい場合は、IT委員にご連絡ください。

2、会員の近況報告&趣味の部屋

先生方の、近況や趣味をご投稿していただきたく、ご自身で書き込めるようにしてあります。症例検討ルームと、同じ要領で書き込みができます。「釣りに行って、こんなでっかい魚を釣った。」など、見せていただければ、楽しいページになると思います。

3、ゴルフ部のお知らせ

35周年の記念誌から、過去のゴルフの成績を、入れております。
ゴルフコンペの案内等も、ここを見ただけであれば、わかる仕組みにしております。
このページは、ご投稿いただく場合、IT委員会の方へ、原稿を送ってください。

4、講習会のお知らせ

市整会主催のクローズドの講演会、文化講演会等は、こちらで情報提供させていただきます。（オープンの講演会の案内は、一般向けの案内にも掲示します。）
講演会終了後の、報告などがありましたら、ここに掲示したいと思います。
このページは、ご投稿いただく場合、IT委員会の方へ、原稿を送ってください。

5、家族会のお知らせ

35周年の記念誌から、過去の家族会のデーターを入れております。今後の、家族会の予定も、このページを見ただけであれば、わかる仕組みにしております。
また家族会の報告などありましたら、ここに掲示したいと思います。
このページは、ご投稿いただく場合、IT委員会の方へ、原稿を送ってください。

6、関連医療機関の医師の情報

大学の関連病院に、どの分野が得意な先生が来ているのか？その先生のお名前は？などの、情報がほしいとのことで、前回の講演会から、市大の関連病院の先生方に、2名ずつ、それぞれの病院の宣伝に来ていただくことになりました。

その情報を、順次アップしていきたいと思っています。病診連携に利用していただけたらと思います。

(6)

会員のページの下に、「メーリングリストのご案内」という、アイコンがあります。

まだ、このアイコンは、現在使用していません。今現在、私が市整会のメーリングリストを立ち上げておりますが、基本的に、JCOAのメーリングリストのように、「業務連絡用」と、「理事会用」と、「市整会会員用」の3つのメーリングリストを準備中です。準備でき次第、新しいメーリングリストに移行したいと思います。その時から、このアイコンを活用するようになると思いますので、御認識ください。

「市整会会員用」のメーリングリストは、いわゆるバーチャル医局として、日常の診療、趣味、飲み会のお誘い等、昔医局でワイワイ言いながら、話をしていたような内容を、書き込んでいただけたらと思います。是非、ご利用ください。

市整会のメーリングリストは、もうすでに立ち上がっておりますので、参加ご希望の先生方は、IT委員まで、メールアドレスをお知らせください。順次、登録させていただきます。

最後に

パソコンは、今やパーソナルコンピューターではなく、「家電」になりました。電気屋さんで、パソコンを買って、家に持ち帰り、電源を入れて、電話線につなげば、その場からインターネットができます。若い子供さんたちは、ゲーム感覚で、パソコンの説明書も読まずに、どんどんパソコンでゲームをしたりして、遊ぶ時代になっております。また、テレビの宣伝でも出ておりますが、年配のおばちゃんもインターネットをする時代。パソコンを苦手な先生方も、ぜひこの機会に、インターネット、メーリングリストに取り組んでいただきたく存じます。お待ちしております。

斧出安弘 e:mail clinic@onode.com

市整会 IT委員会

柳井尚浩、木下裕介、森川献志漢、小竹志郎、アドバイザー 宮脇裕二先生

メールアドレス

| | |
|--------|---------------------------|
| 柳井 尚浩 | afbjo640@oct.zaq.ne.jp |
| 小竹 志郎 | kotakeseikei@gmail.com |
| 森川 献志漢 | kenshiro-m@nifty.com |
| 木下 裕介 | JZ8H-KNST@asahi-net.or.jp |
| 宮脇 裕二 | hcl05003@bca.bai.ne.jp |



平成21年度 市整会家族会 ～有馬温泉日帰りツアー～

西澤 徹（昭和62年入局）

秋晴れの爽やかな高い空。でも日曜日朝8時半の繁華街はうら寂しい。鳥の声と生ごみのにおい。学会のホテル代をケチったドリーム号の新宿西口と同じにおいだ。とそこに、明るくさざめく集団が。少し妙な集団だ。年齢性別の構成がまちまちなのだ。今年も市整会の家族会に参加してしまった。

「市整会は先輩後輩の序列なく、日々苦闘する開業医として対等な関係である。」なんて建前と、わかったような事を言ってる貴方。一度家族会に来てください。ここには市整会の真髓があります。はまりますよ。無理やり奥さんも連れてきてみて。

今年是有馬温泉日帰りツアー。有馬で一日もつのと私は思ったんだが、どうしてどうして、時間が足りないくらい。総勢25名と少しさびしかったけれど、得難い体験もでき濃密な時間を過ごしました。厚生係り2年目の安田浩成先生、つぼを心得られましたね。行きたいのだけれど個人では氣と腰が重いところを見事ついでます。

大型バスで、まず池田のインスタントラーメン発明記念館へ。車中では当然ビールを一杯。昨年の会報を参照していただきたいのだが、今年も我が愚息「ポニョ男」は参加だ。今年から彼は幼稚園の年少に入った（近所に1、2年保育がなく仕方なく）。碌なことを覚えませぬね。言葉は悪くなる。粗雑な行動に拍車がかかる…親の顔を見せたくない。バスから記念館への道すがら、いきなり長田明先生の可愛いお孫さんの莉奈ちゃん（3歳）とさりげなく手をつないでいる！あまりの自然な振る舞いに、父は感心したぞ。

チキンラーメン作り体験ときいていたが、粉から作るとは。作業前の説明は、さながらオベカンファレンスだ。皆の真剣な表情は、豊川先生の写真報告のとおり。二人一組で。僕は鳴嶋真人先生と組んだ。粉にかん水、調味料などを加え手早く混ぜるところから。緊張する。研修医の気分だ。「そんな混ぜ方したらセメントに空気が入るやないか！君はレジスタントや！」

〇先生の怒声を思い出した。製麺機で生地を何度も伸ばして、最後に押し出すように細い麺を作る。味付けして、蒸した後、パーム油で揚げる。この際卵をのせるくぼみができるようになっていた。袋は各人オリジナルの絵柄を描く。石上直先生はここでも芸術家なのであった。一同ため息。ポニョ男も何やら。ジョアン・ミロとは親ばかか？味は市販のものより美味しかったらしい（ポニョ男、家族談・涙）。やはりインスタントも手作りに限る！？

続いて有馬グランドホテルでの昼食。浴衣に着替えて、まず展望大浴場へ。露天風呂にも、金泉、銀泉が。六甲の山並みはすでに色づき始めていた。ポニョ男は長田先生のお孫さんの和哲君、泰侑君にくっついて浴槽めぐりをしている。ご馳走は、神戸牛や山海の幸をいただきながら、神戸ワイン。極楽だ。ポニョ男は僕の土瓶蒸しを食べた後は、莉奈ちゃんのもとへ。悪さをしないか、冷や汗もので食事が喉を通らない（ウソ）。今年も美味しかったとしか書けない自分がいる。

料理とお酒を堪能した後は、ポートアイランドにある、花鳥園へ。いわゆるポーアイ二期工事の土地にある。まわりはほとんど空き地で、「りんくう」より酷いかも。園内へ入るとすぐ、ふくろうの館だ。大小黒白いろいろいる。ほとんど動かず、表情も変わらないのに、なぜか見飽きない。温室のような建物には、天井から色とりどりの花々が吊るされている。水は自動で供給されるらしい。池には魚も多くいて、幾種もの鳥が庭をうろうろしている。ポニョ男は莉奈ちゃん達とえさやりに夢中だ。

夕陽に少しセンチな気分になって、神戸をあとにする。難波についた時には、すでに日は落ちていた。少しふわふわした足取りで、皆帰途についたのであった。「莉奈ちゃん、可愛かったね。いっしょに遊べてよかったねぇ。」「うん、可愛かった。莉奈ちゃんのお母さんも可愛かったよ。」 嗚呼…

新入会員紹介

自己紹介

くわの整形外科 栗野 吉浩（平成4年入局）

大阪大学工学部醗酵工学科を卒業し、メルシャン（ワインの会社で有名ですが）に入社し研究室に在籍、おもに遺伝子工学のことをしていました。以前より生命科学分野に興味があり、大腸菌一辺倒の生活から、方向転換し、人間を扱う医師を目指し大阪市立大学医学部に入学し、整形外科医となりました。

整形外科医を目指したのは、以前からコンプレックスとしていただいていた、短足、O脚を治す事が出来たらいいのになあ、という漠然としたものでした。また、サッカーをしていたこともあり、スポーツ障害にも興味がありました。そのためには、やはり、骨、筋肉などを扱う整形外科だろうと、非常に単純に考えていました。もしかして、何か、あこがれの長〜い足になればなあ、と当時あり得ないと分かりつつ、夢を抱いていました。（まさか、本当にできるとはこの時点では想像もしていませんでしたが…）

<研修開始>

そんなこんなで、平成4年に大阪市立大学を卒業し、整形外科教室に入局、まず、大阪府済生会中津病院で研修医として2年間頑張るぞ、まあその前に卒業旅行でも行くか、と、スペインに旅行、帰りの飛行機でエコノミークラス症候群になり、急遽入院治療、研修開始当日は、入院のため欠席というとんでもない研修生活の始まりでした。当時、整形外科部長の松田英樹先生には、本当にご迷惑をおかけしました。中津病院の初めの1年は、研修医総合ローテーションで、内科半年、麻酔科半年回った後、初めて整形外科に回ってきて何もできない頃、ちょうど、関西労災病院から北野公造先生が部長として赴任されました。何もできなくて、ただ金魚のフンのようにまとわりついたので嫌な顔もせずご指導いただき、大変

お世話になりました。2年の研修期間が終了してから、くじ運がよく、大阪市立総合医療センターで一般整形外科、救急と研修し、主に肩、脊椎疾患を3年お世話になりました。

大阪市立総合医療センターに在籍していた時、同期の青野君らが、『教授がロシア（当時のソビエト連邦）でしている面白い骨折治療を見学に行くから鞆持ちに同期一緒にみんなで行かないか』誘ってくれたので、当時としては、なかなか行く事の無い場所だし、見学コースの中になぜかモスクワ、サンクトペテルスベルグが含まれており、赤の広場、エルミターージュ美術館も行けるようになったので、観光がてらお気楽な立場で参加しました。

行ってびっくり、病的な骨短縮を、当時では出来ないと言われていた、骨延長技術で、身長も伸びて下肢の長さも元に戻っている。こりゃすごい！いろんな分野に応用が利きそうだ！と思いました。僕の脚もスラっとなるかもと思いました。このころは、自分自身がこのイリザロフ法で治療できるまでになるとは思ってもいませんでした。

<関西労災病院で>

その後、何のめぐりあわせか、関西労災病院に約10年勤務し、スポーツ整形外科、足の外科、骨盤、下肢の難治性骨折などの治療にあたりました。このとき、イリザロフ創外固定など治療を行いました。

関西労災病院では、大阪大学の先生方がいて、いろいろな先生の手術も体験できたことが今になって役に立っています。その考え方や治療方針の立て方など、非常に参考になり、毎週2回あるカンファレンスでは、大学並みの症例が出てくるので、自分自身がカンファレンスに症例を提示するとき、はじめの頃は研修医のようにびくびくしていたの

を覚えています。

まず膝関節鏡の手術（靭帯再建手術）、脊損の手術、多発外傷、骨盤骨折などの手術経験が増えていきました。難治性の骨折治療を始めるようになりました。他の病院で、感染したもの、偽関節になったものや、変形治療したものなど様々なあまり皆さんが経験したくないようなものです。

治療に当たって、患者さんから、いろんなことも教わりました。症状は、病態を正確に伝えてくれるもの、それをつぶさに読み取れる力が大事なのだと言われ、経験から教えていただきました。一生懸命していたせいでしょうかわかりませんが、運良く、感染例は、骨髄炎も含めてほぼ全例感染状況のない状態まで改善できたと自負しております。

難治症例を治療していく過程で、いろいろ患者さんに教えてもらったこと、それらによって私自身が成長できたことを感謝しております。

今後は今までの経験をできるだけ患者さんに提供し、その事で、社会に貢献できたらと思っています。

そんな思いもあって、昨年（2009年）1月に芦屋市中央部で開業いたしました。

今まで、研修医、研究医をしていく上で、先輩諸氏のご指導がなければ、今の私はないと思います。済生会中津病院では、北野公造先生にまわりついたのに嫌な顔もせずご指導いただきました。

大阪市立総合医療センターでは、脊椎外科について松田英樹先生に、関西労災病院では、福岡慎一先生、坂和 明先生の両先輩にご指導いただきました。当時の関西労災病院整形外科部長であった多田浩一先生には、本当に症例のことから何から何まで困った時にお世話になりました。まずはこの場を借りてお礼をしたいと思います。ありがとうございました。先輩諸氏には今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

<私の開業に際しての思い>

1. 高齢化に伴い寝たきりとなりかねない骨粗鬆症による病的骨折を出来る限り予防する治療を行う事
2. その為のリハビリ、検査、治療を積極的に進める事
3. 地域の骨折発生を低下させ、近隣の皆さんに健康にすごしてもらいたい

この地域の先生、気さくな先生、私が小さかった頃のあの先生を目指したいと思います。

開業地 芦屋市東山町15-12 ネスト芦屋1階

くわの整形外科 院長 栗野 吉浩

☎0797-35-1119 FAX 0797-25-7775

自己紹介

はじめまして。モノレール大日で昨年6月に開業いたしました日下と申します。

自己紹介の原稿を承りましたが、これと言って特徴のある人間ではございませんので、最近、暇があれば釣りに行っていることを紹介いたします。

初めて釣りをしたのは小学時代ですが、2年前に有馬富士というところにバーベキューに行ってお客用のマス釣りをしてからハマりました。最初の1年間は鳴尾の海釣り公園や南港の海釣り園に行きサビキをしていました。昨年初めて投げ釣りデビューし、釣ったキスを天婦羅にして食べまし

くさかクリニック 日下昌浩（平成5年入局）

た。今はすっかり本流にハマリ、浮き流しをしています。今年の秋は土日に休みが全くなく、1回だけびわこ成蹊をお休みできたので11月18日に淡路の翼港に行ってきました。メバルはほとんど入れ食い状態でしたがサイズがいま一つ、一番大きいものでも18cmでした。でも18匹に30cmのウマヅラ1匹、15cmのガシラ1匹釣りましたので結構食べ応えがありましたよ。言い忘れてましたが、もちろん食べる魚しか釣りません。メバルは小さいので頭を落として背中から包丁を入れ3枚におろします。皮を引くから鱗はそのまま腹骨をそぎ、

(10)

最後に皮を引いて、1匹で2枚取れます。合計36枚！シャブシャブにしてポン酢で、残りはたまり醤油でたまりませ〜ん。ハゲは肝をつぶさないようにとり、薄皮は面倒だから引きません、このほうが湯通しすると歯ごたえがいいんです。これもポン酢で肝と一緒にマフッといきます。釣った魚をお造りで食べる時は、緩く流した水道水に5分程度入れますと感染のリスクが減少します。でも本当の魚の味を確かめたい方はデッドにどうぞ。僕は消毒派です。もしどこかの釣り場でデブが竿を

垂らしていたら、ぼくかもしれません。最近の出没場所は淡路島翼港（ここでは知らないおじさんによく声を掛けられます。常連さんと間違われているみたい）、和歌山由良海釣り公園、和歌山由良尾張屋のボート、岬公園裏などです。アワブクブクを4つとバケツを3つも持っていきますのですぐにわかるそうです。このように何の取り柄もございませんが、これからも末長くご最員・御引立てのほどよろしくお願い申し上げます。

自己紹介

しまもとクリニック 島本 敬三（平成6年入局）

新年明けましておめでとうございます。平成6年度入局の島本敬三と申します。これまでに国立大阪南病院、白浜はまゆう病院、馬場記念病院、大阪府立身体障害者福祉センター付属病院、大正区の串田病院に勤務させて頂き、諸先輩方に大変お世話になりました。

平成20年8月からは消化器科外科医の妻と共に、大正区で仲良く？開業させて頂いております。開業の際にも諸先輩方に大変お世話になり本当にありがとうございます。

開院後1年3カ月経過しましたが、苦勞していることのひとつに、電子カルテがあります。開院当初の頃は自分でカルテ入力を試みましたが、まったくスピードが遅く、自分だけの入力は早々と諦めました。カルテ入力係の事務員を診察室において診察をはじめ、入力スピードが少しずつ速くなってきたところです。スピード以外にも、電子カルテ自体のもつ問題点は多くあり、今でも紙カルテに戻したいと思いながら、我慢して使っています。

そんな仕事のストレスを忘れるため、休日には自然の多い山、川、海によく3歳と5歳の娘を連れて家族で出かけました。アウトドアが好きな方にお勧めの場所がありましたので紹介させて頂きます。滋賀県東近江市黄和田にある“清流の里オー

トキャンプ場”というところです。名神高速八日市ICを降り、愛知川（えちがわ）に向い永源寺ダムを越えたところにあります。愛知川の上流にあり、まさに清流という名にふさわしいきれいな川沿いのキャンプ場です。杉木立のなかに車を止め、木陰のなかで、バーベキューをしたり、すぐ近くの清流愛知川で川遊びをすることができます。子供のころ和歌山の田舎の川でよく遊びましたが、その頃の川と同じくらいかそれ以上にきれいな川でした。川の水が透き通ってきれいなうえに、川底の砂や石も他の川に比べてきれいでした。興味のある方は夏になったら1度遊びに行ってみてください。

最後に新春らしく1句詠ませて頂きます。

影なべて 濃き寒晴れの 水の音

実は往診先の患者さんと、国文学の先生をされていた方に教えてもらったものです。冬の晴れた日の朝はすべてのものが色濃くうつり、水の音もさわやかに響くという状況を描写したものとこのことです。

皆様方が、健康に過ごされ益々ご活躍されますことを心よりご祈念申し上げます。

貴重な紙面を与えて頂きありがとうございます。

自己紹介

たむら整形外科 田村 隆典（平成13年入局）

今年3月に西淀川区にて開業いたしました、たむら整形外科院長の田村隆典です。平成13年に川崎医科大学を卒業後、大阪市立大学整形外科学教室に入局。2年間の大学研修の後平成15年5月より堺市の医療法人ペガサス馬場記念病院で4年間、平成19年10月より医療法人弘道会 守口生野記念病院をへて、今年の3月6日JR塚本駅前の旧花川市場にて開業となりました。

“なぜ市場で？！”と不思議に思われた方もおられるかと思いますが、商店街に面した公設市場跡地にスペースが確保できたためこの地を開業地と致した次第です。その昔、戦後から高度経済成長期にかけては非常ににぎやかであった市場だったのですが次第にスーパーに客足が流れ、市場がクリニックになるとは時代の流れを感じてしまいます。塚本は梅田からひと駅という立地ですが、まだまだ下町情緒が残る人情味豊かな地であり、自然と患者さんとのコミュニケーションも密な飾りのないものになってきます。まだ数カ月目ではありますが家族ぐるみの患者さんが何十組とおられ、待合は患者さん同士見知った顔ばかりというアットホームな環境で楽しく仕事ができることを本当に幸せに思っております。

自分自身の専門分野は外傷骨折治療を主として救急病院で従事させていただいていましたが開院後は外傷よりも変形性膝関節症や、頸椎症などの変性疾患を多く診ることがほとんどとなりました。当院の特徴としては、“わかりやすく・安心して通えるクリニック”をモットーとして、できるだけ患者さんの病状説明に時間をかけて十分患者さん自身が理解をされたうえで治療を選択していただくように努力しております。整形外科一般の治療はもちろんのこと、運動器リハビリテーションをはじめ、痛みについての治療（ペインクリニック外科）も行っております。また、一般のクリニックと違う点としては、当院には0.2Tのオープン型MRIを導入しております。最近のMRIは非常にコンパクトになり、また撮影時の騒音も随分と静かになっています。肝心の画像も一時のオープンタイプと比較して非常に鮮明になっており、診断の助けになっております。今後の課題としては、近隣からの検査依頼が増えるよう努力していきたいところでもあります。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともよろしく願います。

おすすめCD

昨年のオーディオフェアで最新機器を使っての新録もののCDを多く聞いたのですが、どうも歳のせいか心引かれるものはありませんでした。特にジャズボーカルは声の生々しさと伴奏のアタック音が強調されるため、どうも好きになれません。こちらが近年アナログレコードが見直されている原因かと思えます。

さて今回のおすすめCDでは私の最も好きな歌手の一人である Teddi King をご紹介いたしましょう。1929年生まれで50年代に活躍した歌手ですが、1977年には若くして亡くなってしまいました。ジャズ・ヴォーカルというよりスタンダードを歌うポピュラー歌手といった方がイメージがわくと思います。彼女の歌い方は一言で言うと気品のある歌い方で、最近の若いボーカリストには求めることのできない味があります。彼女はあまり有名ではありませんが、ジャズの愛好家たちが密かに愛聴する歌手の一人です。You Tubeで彼女の歌声や姿を見ることはできますが、ここでは最も有名な1枚から紹介いたします (CD 1)。Storyvilleから出たこのレコード"Miss Teddi King"は10インチレコードで通常のものよりひとまわり小さいサイズですが、このBurt Goldblattによりなされたジャケットデザインが特に有名で、レコードコレクターの間ではオリジナル盤は高額で取引されているほどです。収録されている曲数は少ないですが、彼女のアルバムの中ではベストといえるものです。しかも伴奏陣にはあの歌伴の名ピアニストJimmy Jonesが加わっています。つぎにこれもStoryvilleから出たものなのですが (CD 2)、こちらは通常の12インチ盤でタイトルは"Now in Vogue"。カバーデザインは前と同様Burt Goldblattの手になるものです。しかしデザインは少し怖い感じでどちらかというとサイボーグという感じではないでしょうか。内容はいぶし銀と思える歌と演奏で埋め尽くされています。3番目は前の二つのジャケットがアートのよかったのに対し、これではまるで京唄子といえるようなジャケットのRCA盤"To you from Teddi King"です (CD 3)。こういうのは買う時にはなかなか勇気のいるジャケット写真ですが、まあ買って聞いてみてください。いいですよ。

宮脇 裕二 (昭和55年入局)



CD 1



CD 2



CD 3



編集後記

会員の皆様、あけましておめでとうございます。今年はまだ憂鬱な診療報酬改定の年です。整形外科はどうなるのかな？まあ、悩んでも仕方ありませんが。

市整会は会員の皆様への情報発信の強力な武器となるインターネットのホームページがIT委員の先生方のご尽力で立ち上がりました。こちらの方をぜひご覧いただきたいと思います。大変よくできていますので。

この話を聞いて少し心配になった超アナログ派

の先生方、ご安心ください。市整会会報は今までのように重要な情報をホームページ同様発信して参りますのでよろしくお願いたします。CDもレコードも両方あればよいのと同じです。

ホームページ同様会報への投稿もよろしくお願いたします。メールで送られる方は以下のメールアドレスまで、またはもっとアナログ派は手書き原稿、FAX、手紙でも結構です。

宮脇裕二 hcl05003@bca.bai.ne.jp (はじめはエッチシーエルです。) (広報：宮脇裕二)